



第68期
事業報告書

平成16年4月1日～平成17年3月31日

愛知万博

「愛・地球博（愛知万博）」で
2つのパビリオンを施工



(左：長久手日本館、右：大地の塔)

「2005年日本国際博覧会（略称：愛知万博／愛称：愛・地球博）」（開催期間：平成17年3月25日～9月25日）に当社が施工した長久手日本館と名古屋市パビリオン「大地の塔」が展示されています。

長久手日本館

日本政府のパビリオンである長久手日本館は、テーマを「日本の経験、20世紀の豊かさから21世紀の豊かさへ」とし、現在地球に起こっている環境問題を始めとする様々な課題を提起し、その課題を21世紀にどのように克服すべきなのか、未来への提言を行っています。建物もテーマに合わせ、新しい素材・技術の実験と、自然素材を活用した実験型パビリオンであり、特に外観は藪の形をした竹ケージで覆われ、日射量の低減と新しい景観を創り出すなど大変ユニークな建物です。このような環境に配慮した様々な試みにより、リデュース、リユース、リサイクルの3Rを実現する将来に向けた意義ある建物となっています。



(建物を覆う竹ケージ)

名古屋市パビリオン「大地の塔～Earth Tower～」



(世界一の万華鏡の設置)

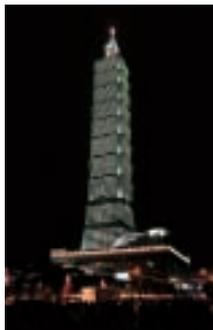
会場の中心部に位置する高さ47mのタワーで愛知万博で最も高い建物としてシンボリックな存在です。

塔全体が「世界最大の万華鏡」となっており、見上げると巨大な光の球が浮かび上がったり、天井には円盤型の水槽を通った光が壁一面の鏡に映り、刻一刻と色彩が変わります。また、外壁を伝う水は様々な模様を描き、その周りには風が音を奏でる「音具」が設置されています。

建物の総合プロデューサーはアーティストの藤井フミヤさんであり、「地球との共存」がテーマの万博で感覚に訴えた建物をつくりたいとプロデュースされました。

TAIPEI101

「TAIPEI101」オープン



(夜空に映える「TAIPEI101」)

昨年の大晦日、当社施工の世界一の超高層ビル「TAIPEI101（台北国際金融センター）」の開幕式典が行われました。式典には、台湾総統や台北市長ら政府要人のほか、財界、報道、工事関係者など600名以上が参加し、盛大に行われました。

また、台北市の要請で年越しのイベント会場となり、世界一の建物を使ったカウントダウンの様子がテレビや新聞などを通じて世界に向けて発信されました。

災害復旧支援

スリランカで復旧支援



昨年12月26日に発生したスマトラ沖地震に起因する津波によりスリランカの沿岸部が被害を受けました。当社はスリランカ南西部のゴール付近で南部高速道路の建設工事を行っていますが、スリランカ政府の要請を受けて工事で使用していた重機を用い復旧工事を行いました。

主な作業は国道2号線（アンバラングダ～ゴール～マーラタ間 約70km）の道路上の瓦礫、流木等の撤去と清掃、陥没した道路の埋め戻し、横転した車両の撤去等を行いました。1月4日には工事は無事終了し、一般交通運用が可能となりました。

また、この工事を受けて、スリランカ首相より感謝状をいただきました。

K - T O P S 活 動 に つ い て

Kumagai Total Open Process System

K-TOPS活動とは、当社の現場の建築施工プロセスを、お客様とその関係者に対して公開し、当社の「安全・品質・環境No.1」への取り組みをご説明して、当社への安心と信頼をより高めていただくとする活動です。

今までも、定例検査時や発注者のご要望による見学会など、施工現場を公開する機会はありませんでしたが、その多くは工事発注に関わる限られた方々を対象としていました。しかし、当社は工事のプロセスをもっと多くの方々に公開することが、当社のスローガンである「お客様に感動を」を早期に実現させる方法であると考え、昨年よりK-TOPS活動を開始しました。

具体的には、検査や試験等の立会いを積極的にご依頼し、発注者に施工プロセスを確認していただく機会を増やすとともに、建物完成後に実際にご利用される方々（例えば、マンションのエンドユーザー、教育施設の教師や学生、医療施設の医師や看護師など）を対象とした現場見学会を開催して施工プロセスを公開しています。

活動事例1

工事名称：（仮称）土佐掘パークタワー新築工事



発注者：三井不動産株式会社
 工 期：平成15年9月～平成18年2月
 工事概要：RC造地上35階建て地下1階

活動の主な内容

昨年5月から発注者、販売会社、マンション購入者を中心に、設置された免震装置をメインにした施工プロセスの説明会を行っています。施工段階でしか見ることができない装置のため、建物の信頼性をアピールする良い機会となっています。

活動事例2

工事名称：立命館大学BKC学生交流施設（仮称）建築工事
 建物名称：セントラルアーク



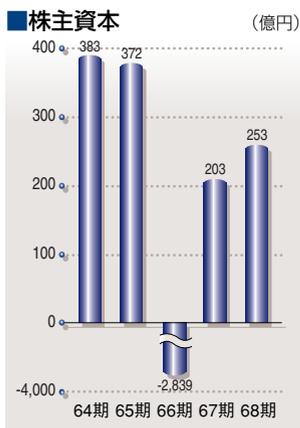
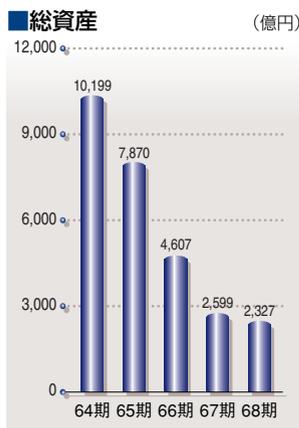
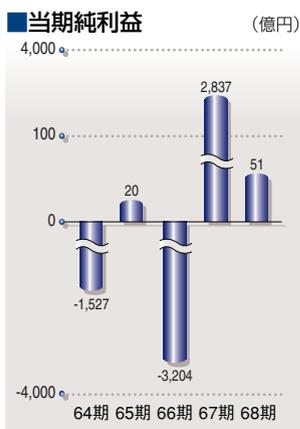
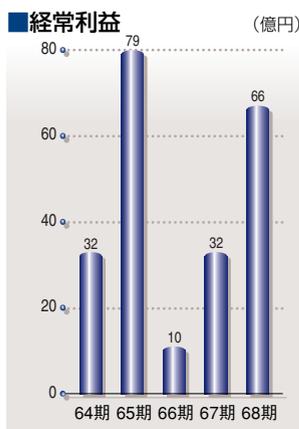
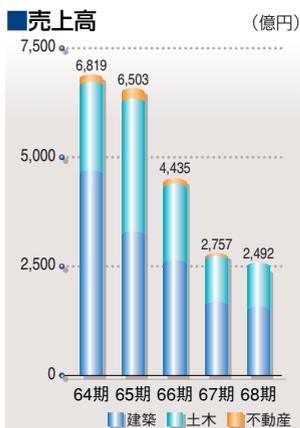
発注者：学校法人立命館
 工 期：平成16年5月～平成17年2月
 工事概要：RC造4階建て塔屋1階

活動の主な内容

発注者や学生を対象に見学会を実施しました。特に建築系学生に各工程毎に現場を公開したり、施工図の講義を行うなど、「生きた教材」による体験学習の場を提供しました。

このK-TOPS活動は、発注者や関係者の建築物に対する安心や信頼を高めるだけでなく、工事関係者の品質や環境に対する意識を向上させる効果があります。発注者やエンドユーザーの方々と直接話す機会が増えたことが、より良いものを作って喜んでいただきたいという意識を高め、品質の向上につながることも、いつも見られているという感覚が、現場内の環境整備や安全に妥協しない雰囲気を作り出しています。

K-TOPS活動は、当初20ヶ所のパイロット現場から始まりましたが、現在、当社の建築現場の約7割で実施しています。今後もさらに活動を広げていきます。



当期の業績につきましては、受注高は、国内工事は増加に転じましたが、海外工事は手持工事高を考慮して政策的に受注を控えたため、全体では前期比3.9%減の2,217億円となりました。このうち、土木工事は789億円、建築工事は1,428億円であり、これらの発注者別内訳は官庁36.5%、民間63.5%であります。また、国内、海外別で見ますと、国内工事は2,152億円、海外工事は65億円であります。

なお、一昨年10月に実施いたしました会社分割により不動産事業がニューリアルプロパティ株式会社に包括承継されており、当期より全額が建設事業の受注高となっております。

売上高は、前期比9.6%減の2,492億円となり、受注高と同様に全額が建設事業による完成工事高であります。このうち、土木工事は992億円、建築工事は1,500億円であり、これらの発注者別内訳は官庁37.8%、民間62.2%であります。また、国内、海外別で見ますと、国内工事は2,255億円、海外工事は236億円であります。

次期への繰越高は、前期比12.2%減の2,546億円となりました。このうち、海外工事は305億円であります。

利益につきましては、売上高の減少により完成工事総利益は微減となったものの、一般管理費の削減及び有利子負債の圧縮による支払利息の減少により、経常利益は前期比105.1%増の66億円、当期純利益は51億円となりました。

当期の受注高・売上高・繰越高 (単位：億円)

区分	前期繰越高	当期受注高	当期売上高	次期繰越高
土木	1,509	789	992	(1,306) 1,290
建築	1,390	1,428	1,500	(1,318) 1,255
合計	2,899	2,217	2,492	(2,625) 2,546

(注) 次期繰越高は、海外工事の繰越高を決算日レートで修正(12億円減)しており、また、当期においては事業の進展が見込めない工事等を修正(土木工事15億円減、建築工事51億円減)して表示しております。なお、上段()内は修正前であります。



小山ダム（茨城県）

茨城県北部の山岳部を水源とする大北川に建設された高さ65m、堤頂長462m、総貯水量1,660万³mの重力式コンクリートダムです。洪水対策や都市用水の安定供給等を目的とし、高萩市と北茨城市に水道用水、工業用水を供給します。



江の島アイランドスパ （神奈川県）

江の島に誕生した新しいスタイルの天然温泉施設です。絶景の眺望と洞窟をモチーフにしたエリア、プールなど多種多様な温泉が都会の喧噪を忘れさせ、心からリラックスさせてくれます。



パークシティ能見台（神奈川県）

広大な敷地にマンションと戸建宅地を配した大規模複合開発プロジェクトです。ゆるやかな南斜面の敷地形状を活かすことで、おらかな眺望と優れた日照を実現しました。



福井高架駅2BL新設他2工事（福井県）

福井駅付近の連続立体交差化のために建設された鉄道高架です。踏切事故や交通渋滞の解消と線路により分断されていた駅周辺地域の一体化及び再生、発展を目的としています。



京急シティ追浜Lーウィング（神奈川県）

地上15階建ての住居棟3棟で構成された総戸数397戸の大型マンションです。充実した共用施設や自然豊かな中庭を住居棟と駐車場が囲む、安全で快適な暮らしに配慮した建物配置がされています。



寺畑谷第一トンネル（宮崎県）

宮崎県延岡市の一般国道10号線延岡道路のトンネル（延長676m）です。施工に当たっては騒音が外部に漏れるのを防ぐ防音ドームや爆薬遠隔装填システムなどを採用し、近隣住民の生活環境の保全と作業の安全性向上に努めました。



土岐笠原トンネル（岐阜県）

東海環状自動車道の土岐ICから瀬戸北IC間を結ぶ道路トンネルです。当社は瀬戸北IC側より掘削を行い、片側延長約1,250mの上下線の上り線953m、下り線921mを施工しました。



日本大学文理学部図書館（東京都）

私学としては最大級の収蔵量を誇る大型図書館です。インターネット環境が整備された次世代の図書館でもあり、学生のみならず広く地域の方々にも開放されています。

貸借対照表の要旨

(単位：億円)

科 目	期 別	第68期 (平成17年3月31日現在)	第67期 (平成16年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産		1,855	2,095
現金預金		455	586
受取手形		87	103
完成工事未収入金		931	961
完成工事支出金		114	111
繰延税金資産		36	25
その他		229	307
固定資産		471	503
有形固定資産		102	108
建物・構築物		20	23
土地		75	76
その他		6	7
無形固定資産		6	10
投資その他の資産		362	385
投資有価証券		117	118
関係会社株式		47	41
長期繰延税金資産		75	89
その他		122	135
資産合計		2,327	2,599
(負債の部)			
流動負債		1,369	1,618
支払手形		303	266
工事未払金		654	719
短期借入金		51	139
未成工事受入金		111	166
その他		248	326
固定負債		703	777
長期借入金		599	671
退職給付引当金		100	100
その他		3	5
負債合計		2,073	2,396
(資本の部)			
資本金		133	133
資本剰余金		99	99
資本準備金		99	99
利益剰余金		7	△44
当期未処分利益又は未処理損失(△)		7	△44
株式等評価差額金		15	15
自己株式		△1	△0
資本合計		253	203
負債資本合計		2,327	2,599

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 129億円 (前期146億円)
2. 金額の億円未満は切り捨てて表示しております。

損益計算書の要旨

(単位：億円)

科 目	期 別	第68期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	第67期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)
営業収益		2,492	2,757
完成工事高		2,492	2,694
不動産事業売上高		-	62
営業費用		2,410	2,685
完成工事原価		2,282	2,482
不動産事業売上原価		-	54
販売費及び一般管理費		128	147
営業利益		81	72
営業外収益		9	17
営業外費用		24	57
経常利益		66	32
特別利益		27	2,784
特別損失		35	101
税引前当期純利益		57	2,714
法人税、住民税及び事業税		3	3
法人税等調整額		2	△125
当期純利益		51	2,837
前期繰越損失		44	3,182
資本減少による欠損填補額		-	300
当期未処分利益又は未処理損失(△)		7	△44

(注) 1. 1株当たりの当期純利益 38円95銭 (前期2,128円45銭)
2. 金額の億円未満は切り捨てて表示しております。

利益処分

(単位：円)

科 目	期 別	第68期 (平成17年6月29日) (株主総会決議)
当期未処分利益		733,432,423
これを次のとおり処分いたします。		
次期繰越利益		733,432,423

●連結の範囲について

連結子法人等11社及び持分法適用関連会社5社

〈主要な連結子法人等〉

株式会社ガイアートT・K

テクノス株式会社

ケーアンドイー株式会社

華熊營造股份有限公司

●連結貸借対照表の要旨

(平成17年3月31日現在)
(単位：億円)

科 目	金額	科 目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	2,175	流動負債	1,603
現金預金	496	支払手形・工事未払金等	1,117
受取手形・完成工事未収入金等	1,254	短期借入金	77
未成工事支出金	143	未成工事受入金	132
その他	281	その他	275
固定資産	586	固定負債	764
有形固定資産	172	長期借入金	626
建物・構築物	40	その他	138
土地	114	負債合計	2,368
その他	17	少数株主持分	14
無形固定資産	8	(資本の部)	
投資その他の資産	406	資本金	133
		資本剰余金	99
		利益剰余金	127
		株式等評価差額金	22
		為替換算調整勘定	△0
		自己株式	△2
		資本合計	379
資産合計	2,762	負債、少数株主持分及び資本合計	2,762

(注) 金額の億円未満は切り捨てて表示しております。

●連結損益計算書の要旨

(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)
(単位：億円)

科 目	金額
売上高	3,233
売上原価	2,967
販売費及び一般管理費	168
営業利益	97
営業外収益	11
営業外費用	25
経常利益	83
特別利益	30
特別損失	55
税金等調整前当期純利益	58
法人税、住民税及び事業税	9
法人税等調整額	3
少数株主持分利益	0
当期純利益	43

(注) 金額の億円未満は切り捨てて表示しております。

●連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)
(単位：億円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△164
現金及び現金同等物に係る換算差額	1
現金及び現金同等物の減少額	125
現金及び現金同等物期首残高	614
連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	6
現金及び現金同等物期末残高	495

(注) 金額の億円未満は切り捨てて表示しております。

■ ■ ■ 役員 の 状 況 (平成17年6月29日現在)

取締役及び監査役

取締役会長	鳥飼 一俊	常務取締役	新井克人
※取締役社長	大田 弘	常勤監査役	滝沢和夫
※取締役副社長	山口啓二	常勤監査役	矢崎文夫
取締役副社長	高木秀宣	監査役	敷田 稔
専務取締役	吉田孝男	監査役	小嶋正己

(注) 1. ※印は代表取締役であります。
 2. 監査役敷田稔及び小嶋正己は「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

執行役員

※執行役員社長	大田 弘	常務執行役員	中里哲郎
※執行役員副社長	山口啓二	常務執行役員	秋元邦夫
執行役員副社長	渡邊和夫	常務執行役員	松浦良和
※執行役員副社長	高木秀宣	執行役員	田中修市
専務執行役員	藤澤亮一	執行役員	林 直樹
専務執行役員	富永克己	執行役員	武藤隆夫
※専務執行役員	吉田孝男	執行役員	伊藤 隆
専務執行役員	武田和夫	執行役員	西岡康浩
専務執行役員	市川康生	執行役員	森次誠治
※常務執行役員	新井克人	執行役員	牧野有孝
常務執行役員	船本隆則		

(注) ※印は取締役兼務であります。

■ ■ ■ 会社 の 概 要 (平成17年3月31日現在)

創 業 設 立	明治31年 1月 昭和13年 1月	資 本 金	133億4,116万2,615円
		従 業 員 数	2,681名

主要な営業所等

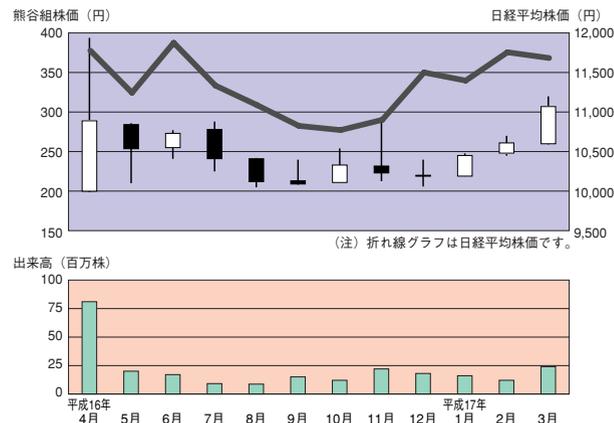
本 店 福井市中央2丁目6番8号 〒910-0006 TEL (0776) 21-2700	福井支店 福井市中央2丁目6番8号 〒910-0006 TEL (0776) 21-2700
東京本社 東京都新宿区津久戸町2番1号 〒162-8557 TEL (03) 3260-2111	関西支店 大阪市都島区東野田町1丁目5番14号 〒534-0024 TEL (06) 6352-1151
北海道支店 札幌市中央区南1条西6丁目11番地 〒060-0061 TEL (011) 261-7271	広島支店 広島市中区大手町4丁目6番16号 〒730-0051 TEL (082) 241-3222
東北支店 仙台市青葉区立町26番20号 〒980-0822 TEL (022) 262-2811	四国支店 高松市今里町1丁目22番9号 〒760-0078 TEL (087) 862-2011
首都圏支店 東京都新宿区津久戸町2番1号 〒162-8557 TEL (03) 3260-3111	九州支店 福岡市中央区大手門1丁目4番1号 〒810-0074 TEL (092) 721-0011
横浜支店 横浜市中区桜木町1丁目1番67号 〒231-8321 TEL (045) 683-5111	国際支店 東京都新宿区津久戸町2番1号 〒162-8557 TEL (03) 3235-8639
名古屋支店 名古屋市中川区西日置1丁目1番5号 〒454-8507 TEL (052) 331-3361	技術研究所 つくば市鬼ヶ窪1043番地 〒300-2651 TEL (0298) 47-7501
北陸支店 金沢市小金町9番18号 〒920-8721 TEL (076) 253-3100	

海外拠点

中国（上海、香港）、台湾、タイ、フィリピン、シンガポール、インドネシア、マレーシア、ベトナム、スリランカ、パプアニューギニア

(注) 1. 平成17年3月31日付をもって北関東支店、東関東支店を廃止いたしました。
 2. 平成17年4月1日付にて海外本部を国際支店に組織変更いたしました。

株 価 / 出 来 高 の 推 移 (平成16年4月～平成17年3月)



株式インフォメーション

ご住所の変更手続きはお早めに

ご住所を変更された場合は、株主名簿の変更手続きが必要です。もし、手続きをされませんと当社から皆様にお送りする各種のお知らせ（株主総会招集ご通知、株主総会決議ご通知など）がお届けできなくなりますのでご注意ください。

変更の際は、下記電話照会先にご連絡いただくか、住友信託銀行本店及び全国各支店で、備え付けの届出用紙に必要事項を記入のうえご提出ください。その際、当初お届けいただいたご印鑑が必要となりますのでお忘れなく。

※証券保管振替制度をご利用されている方は、お取引のある証券会社へのお届けとなります。

各種のお問い合わせは
最寄りの住友信託銀行もしくは
下記へお問い合わせください。

郵便物送付先 〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社
証券代行部

電話照会先 (住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417
(その他のご照会) ☎0120-176-417

ホームページアドレス <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

株主メモ

決算期 3月31日
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 3月31日
利益配当金 3月31日

公告の方法 日本経済新聞に掲載する。
ただし、商法特例法第16条第5項に定める
貸借対照表及び損益計算書に係る情報は、
<<http://www.kumagaigumi.co.jp/kessan/index.html>>
において提供する。

表紙写真：TAIPEI101（台湾）

508mの高さを誇る世界一の超高層ビルです。振り子型制震装置や世界最速のエレベーター等の最先端の技術が取り入れられています。

